

オルソリハビリテーション病院 画像診断部

技師長 中村伸治

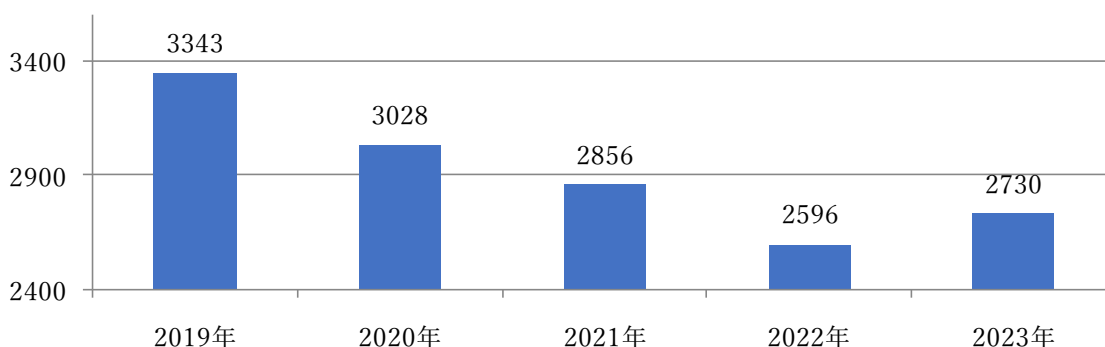
活動状況

画像診断部の業務として一般撮影をオルソリハ病院担当技師1名が行っています。主に中村、竹内、久保、田村が撮影しています。患者さんごとに清拭をして、感染に気を付けています。

2023年の一般撮影件数の内訳は外来15.6%、入院84.4%で合計2730件です。昨年と比べると134件多くなっています。(図1)(図2)昨年と比べると若干増えたもののコロナ前とでは件数が少ないです。2月から6月にかけて外来患者さんの撮影が多かった。入院患者さんでは3月の撮影が多かった。始業・終業点検を毎日、年1回のメーカー点検のおかげか、X線発生装置、フラットパネルの大きな故障はありませんでした。

フラットパネル2台を使用して鮮明なデジタル画像を提供しています。フラットパネルは2008年から使用していて、2022年の9月以降故障した際の部品が調達できない可能性があります。買い替えの必要があります。備品チェック表を用いて機器の安全、性能維持、安定した画像提供に努めています。放射線管理では撮影室の漏えい線量の測定を年2回行なっています。

【図1】オルソリハビリテーション病院  
5年間のX線撮影件数推移



【図2】月別件数

